

## [既存施設の「電力カンテイ」の実施方法]

### 【1】第1段階①……電力契約内容と稼働実態の分析(無料)

- ① 契約電力・料金体系・付帯契約の見直しによる適正化
- ② お客様所有の電気料金等請求書写し(過去12か月分)の徴収
- ③ お客様所有の電気のご使用量のお知らせ(検針票)写し(過去12か月分)の徴収
- ④ 「電力鑑定の調査票」(別紙参照)

※施設利用業態・業種、稼働(営業)日、稼働(営業)時間、

※負荷設備の内容、蓄電設備の有無、常用発電機の有無

- ①～④の分析後の電力会社と協議により減額に成功した場合。

……電気料減額分の1/2を報酬とする(期間5年間)

### 【2】第1段階②……家屋評価及び償却資産申告書の鑑定(成功報酬)

- ① 地方税の家屋評価額の分析・鑑定により固都税の軽減(税額還付又は、次年度より軽減)
- ② 地方税の償却資産申告書の修正申告により固定資産税の軽減(税額還付又は、次年度より軽減)
- ③ 国税の減価償却資産台帳の見直しによる法人税等の軽減(次年度より軽減)

※成功報酬にて実施(軽減が成功しない場合は、報酬は発生しない)

### 【3】第2段階……各設備機器の仕様・使用調査と電力消費量調査(第1段階の軽減額(施主分にて充当))

- ① 設計図書の負荷計算と設備機器仕様の確認
- ② 現場の実態調査(受変電設備及び各設備機器の利用実態)
- ③ 各設備機器の仕様調査
- ④ 主要設備の運転状態の解析により無駄なエネルギー消費の顕在化と対策(電力センサー等の使用)

### 【4】第3段階……電力消費量削減の提案(無料)

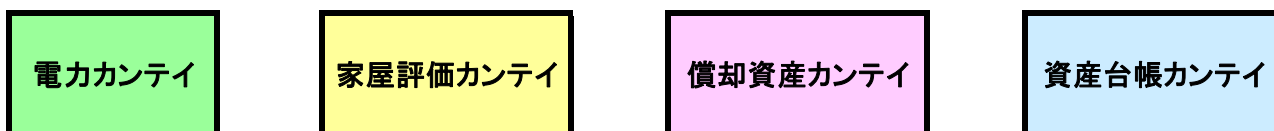
- ① 個別機器設備の提案
  - ② 各設備ごとのシステム提案
  - ③ デマンドコントロールによる提案(はやぶさの電力センサーの利用)
- 各設備機器の電力消費量調査(はやぶさの電力センサーの測定)

### 【5】第4段階……第4段階の実施(有料)

- ① 実施業務の費用対効果の説明と実施範囲の選別
- ② 機器の保有、賃貸、リース等の検討
- ③ 24時間監視システムの採用の採否
- ④ 資産台帳の整理と固都税の軽減額提示

## 《電力カンテイのチャート》

p-2



### 【第1段階の①と②】 ※第1段階は、成功報酬にて実施



### 【第2段階】 ※第2段階は、第1段階の軽減額にて負担していただきます。 (概算:30万~100万程度・・・特殊設備は除く)



### 【第3段階】 ※無料



### 【第4段階】 ※有料

